

## 百年先も続く、農業をラオスから

### ラオスで一番おいしいコーヒーづくりを通じて農家の発展を支援

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社坂ノ途中(京都府京都市、小野邦彦 代表取締役)が提案する「持続可能な農業に向けた IT を活用した生産管理・需給調整システム導入案件化調査」(ラオス)を採択しました。

ラオス政府が掲げる GAP (注1) /有機認証を満たしたクリーン農業の普及を念頭に、IT 技術を活用して「統合型生産管理・需給調整システム」を構築することを通じてラオス産有機農産物の国内外への流通・販売を通じた農業振興と生産農家の生計向上等の効果が期待されます。

ラオスにおいて IT 技術を活用した農産物管理システムはこれまで存在せず、効率的な有機農産物流通の実現に向けた全く新しい取り組みです。



農家にコーヒーの栽培技術指導を行うスタッフ



日本国内で展開する自社サービス「farm0(ファーム0)」  
の技術をもとに開発を行う

今回、同社が既に関係構築しているラオス北部のルアンパバーン県のコーヒー生産農家を対象に、コーヒーの生産工程に沿った栽培記録と生産管理を行い、現地の適合度合いを確認しながら生産管理システムの修正・開発を実施します。

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注2)として実施され、今後の契約交渉後、契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注1) 「品質」「安全性」「環境への配慮」などの一定基準を満たした農作物に認められる規格。

(注2) 案件化調査は、2012年度から実施されており、今回は全国で36件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査2017年度第1回公示の採択結果について

[https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation\\_170308\\_result.pdf](https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf)

#### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 企業連携課 担当 中山

TEL 078-261-0397 e-mail : Nakayama.Shigehiko@jica.go.jp